

宗教法人 大徳寺 **保育園** (南九州市)

構造	木造平屋建	建築面積	392.26㎡	延床面積	353.09㎡
事業費	55,961千円	補助金	17,103千円	木材使用量	115.58㎡
完成年月日	平成29年5月31日	工期	平成29年1月5日～平成29年5月31日(147日間)		

事業主体 宗教法人 大徳寺
代表 澤村 亮哉

施設名称 大徳寺保育園
〒891-0912 南九州市南別府27093
TEL 0993-86-2027 FAX 0993-86-2090

施設管理者 澤村 剛
TEL 0993-86-2027 FAX 0993-86-2090

設計事務所 木空間一級建築士事務所
〒897-0302 南九州市知覧町郡5181
TEL 0993-58-7272 FAX 0993-78-3388

施工業者 マル川建設(株)
〒897-0224 南九州市川辺町本別府2522-1
TEL 0993-56-1348 FAX 0993-56-0626



◆施設の概要

木造建築により保育所での子供が木のぬくもりを感じ、健康で安全で情緒の安定した保育環境を提供し、子供達の心身の健全な発達を図る。

また施設を地域に開放して催し等を開催し、地域コミュニケーションの場とする。

◆設計のコンセプト

一般に保育施設は遊戯室部分が大きいため、大断面集成材や特注金物、市中に流通していない木材の採用等でコストが増加する傾向がある。そこで、本施設は南薩地域の一般製材、流通している基準法対応金物を採用しコストを抑えた。

遊戯室は森の中の広場をコンセプトとし、丸太柱の羅列で遠近感を感じさせ、丸太梁で木の枝を表現した。なお、両脇に袖壁をとることで柱と筋交いを強固に確保できた。また、柱間の置1置スペースは子供が狭い場所を好む習性があるため、住み家作りや読書の場となる。天井は高く、昔の技法の登り梁を牛で受けることでシンプル天井を表現した。

外廊下においては、屋根の野地板の厚みを30mmにすることで断熱と強度を兼ね備えた軒の長い屋根ができ、雨の時に外廊下に雨の吹き込みを少なくした。また、床も杉30mmを使用することで子供が転倒して頭を打っても大事に至らない優しい木づかいになった。



外 観



遊戯室



多目的ホール



保育室



廊 下

子育て支援センター・保育園 (霧島市)

構造	木造2階建(準耐火構造)	建築面積	新築210.39㎡, 改修 887.85㎡	延床面積	新築 288.16㎡, 改修 794.40㎡
事業費	68,214千円	補助金	32,466千円	木材使用量	103.83㎡
完成年月日	平成27年2月28日	工期	平成26年9月1日～平成27年2月28日(181日間)		

事業主体 社会福祉法人 金剛福祉会
理事長 原村 光慈

施設名称 地域子育て支援センター(新築), 隼人保育園(改修)
〒899-5101 霧島市隼人町住吉971-2
TEL 0995-42-0348 FAX 0995-42-0358

施設管理者 園長 原村 光慈
TEL 0995-42-0348 FAX 0995-42-0358

設計事務所 一級建築士事務所 (株) JUN設計
〒899-4501 霧島市福山町福山4690-6
TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709

施工業者 (株) 森建設
〒893-0201 鹿屋市輝北町上百引3847-2
TEL 099-486-1131 FAX 099-486-1133



◆施設の概要

当施設は、霧島市在住の方を対象とし、親支援・子ども支援を目的として整備した。

事業内容は、学童保育・子育て支援事業・病後児保育である。

いずれも霧島市には施設数が足りないことから需要が高く、また、各事業がひとつの施設の集まることにより、利便性が増えて様々な利用方法が生まれてくる。

鹿児島県産材で、新設園舎の木造化と隣接する隼人保育園の内装木質化を行うことにより、県産材の良さを相乗的に発揮できる。子どもを対象にしていることもあり、木本来の温かみや自然景観が子どもの情緒安定につながる。

◆設計のコンセプト

新設園舎は、東側道路と高低差約4mを生かした配置及びゾーン計画とし、一般園児は1階から、病後児は2階の玄関から、動線が交わることなく利用できるようにした。

内部は、園児と施設職員の空間を分離し、1階は目的に応じて使用できるよう可動間仕切とし、育児相談等が行えるコーナーを配置、2階は病後児の観察・管理の面から施設職員カウンターを中央に配置した。

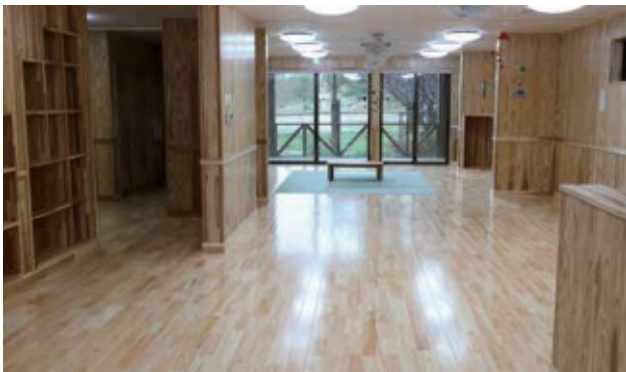
既設園舎は、既存内部仕上及び造り付家具類を一新し木造りの温かみを感じられる空間となっている。各室の収納・使用目的に応じた造り付家具を配置し、使い勝手にも配慮した。

新設・既存とも県産材をふんだんに使用し、幼少期の視覚・聴覚・嗅覚で、木の持つ質感・温もり安らぎを感じられるようにした。

なお、当施設は、準耐火構造となっている。



外 観



子育て支援センター保育室・ホール



子育て支援センター病後児保育室



保育園遊戯室



保育園保育室

社会福祉法人
まこと福祉会

幼保連携型認定子ども園 (鹿屋市)

構造	木造平屋建	建築面積	979.66㎡	延床面積	976.24㎡
事業費	135,663千円	補助金	50,000千円	木材使用量	226.06㎡
完成年月日	平成29年6月12日	工期	平成28年10月15日～平成29年6月12日(241日間)		

事業主体 社会福祉法人 まこと福祉会
理事長 平川 真英

施設名称 和光幼保連携型認定こども園(和光こども園)
〒893-0046 鹿屋市横山町1566番地
TEL 0994-48-2931 FAX 0994-48-2980

施設管理者 副園長 平川 明憲
TEL 0994-48-2039 FAX 0994-48-3124

設計事務所 (有)三宅建築設計事務所
〒893-0037 鹿屋市田崎町140番地
TEL 0994-40-0007 FAX 0994-40-0099

施工業者 (株)黒松製材建設
〒893-0045 鹿屋市田淵町151番地
TEL 0994-48-2101 FAX 0994-48-2921



◆施設の概要

鹿屋市大始良地区にある和光こども園は平成28年度より保育所から幼保連携型認定こども園へ移行。大始良地区の子育て支援の拠点として地域の要望に応えてきた。園舎は40年近く前に建設、改修をくりかえし事業を行ってきた。大始良地区における乳幼児保育の希望は多く過去数年十数家庭の空き待ち児童を抱えていたため、本事業により新園舎を建設し、地域のニーズに対応できる幼保施設となることを目的としている。

◆設計のコンセプト

本施設は木材をふんだんに使用し、木のぬくもりを感じながら過ごせる設計を基にしている。また、新たな建築資材であるCLTを活用し、環境にやさしくかつ高性能、厚みのある素材を利用することで強い構造材として木材を利用することができる施工技術を用いている。

施設は、広々としたプレイルームを設計し、園児、保護者をはじめ、地域住民の交流の場として利用することができる。



外 観



リズム室



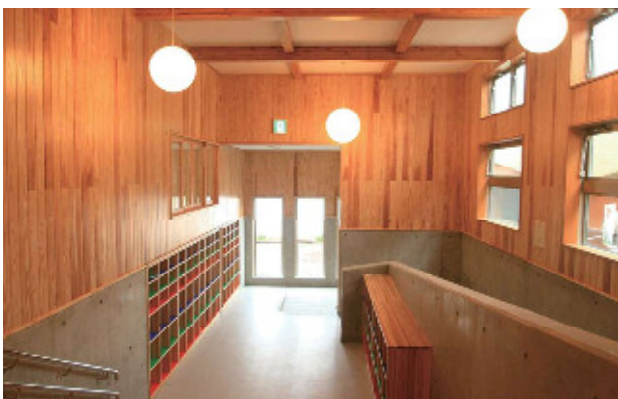
外観・ウッドデッキ



保育室(0歳児)



保育室(3歳児)



玄関ホール



ほふく室 (正面壁は CLT 現し使用)